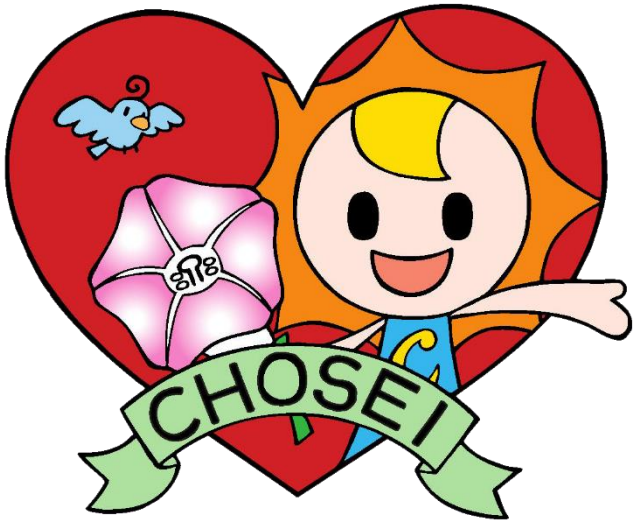
第２版長生村人口ビジョン
第２期長生村総合戦略
概要版



令和２年３月
千葉県長生村

はじめに

急速に進む人口減少と少子高齢社会の進展に歯止めをかけ、地域の活力を取り戻す「地方創生」を実現するため、本村では、平成２７年度に５か年計画として策定した長生村総合戦略に基づき、温暖な気候と平坦な地形、農業を基幹としたバランスの取れた産業構造といった本村の特徴を「強み」として活かす取組を、住民、企業及び各種団体が一丸となって進めてまいりました。

地方創生の実現には、結婚・出産・子育て、移住・定住といった人々のライフデザインに係る成果が求められることから、継続的な取組が必要となります。国も「まち・ひと・しごと創生基本方針２０１９」において「継続は力」を掲げ、国と地域が一体となった構造的な課題への取組強化の必要性を強調しています。

このことから、本村においても継続的な取組の一層の充実・強化を図るため、まち・ひと・しごと創生法に基づき、本村人口の現状と将来展望を示す「第２版長生村人口ビジョン」と今後６年間の目標や施策の方針をまとめた「第２期長生村総合戦略」を策定しました。

この人口ビジョン及び総合戦略に基づき、本村の若い世代の希望がかなえられる輝かしい将来に向け、「夢がある、生きがいを感じる、住んで良かった長生村」を住民の皆様とともに実現してまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見ご提言をいただきました住民の皆様をはじめ、村議会、村まちづくり推進委員会の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

令和２年３月

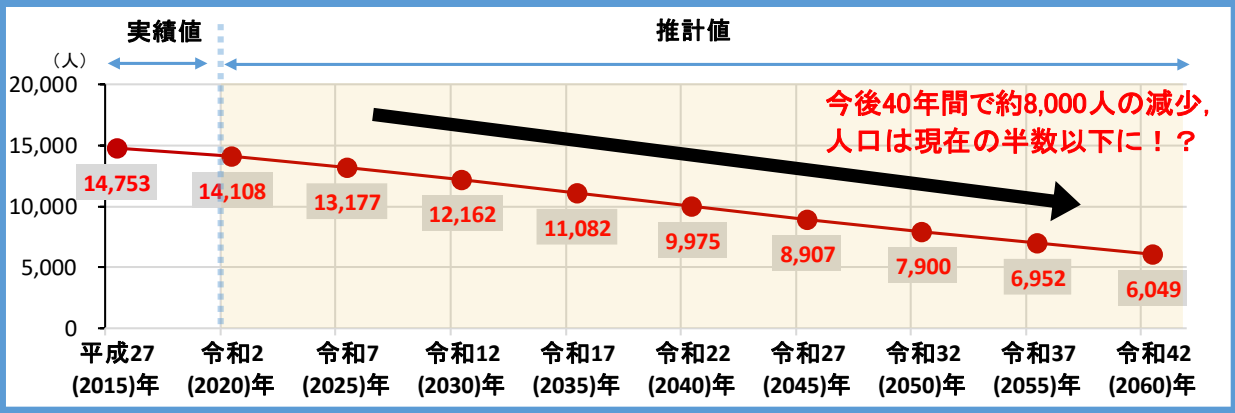
長生村長　小髙陽一

長生村人口ビジョン ≪概要版≫

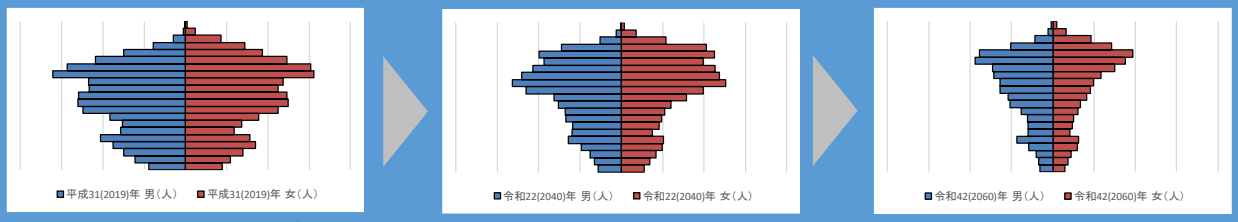
長生村のこれからに関わる、大切な計画書です。
皆さんで読んで、考え、これからの長生村をともにつくっていきましょう。

長生村はこれからどうなるの？

総人口の推移



人口ピラミッドの推移



平成 31(2019)年 実績　　令和 22(2040)年 推計　　令和 42(2060)年 推計

※下段から順に 0～4 歳、5～9 歳、…と 5 歳階級ごとの人口を表しています。最上段は 100 歳以上の人口です。

グラフを見ると、ずいぶん人口が減るんだね・・・？

その上、若い人の割合がますます減って、高齢者の割合がさらに増えていくんだよ。

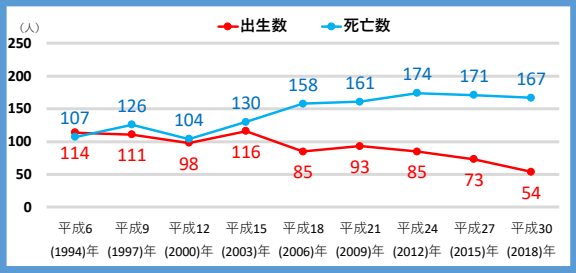
そうすると、どうなるの？

まず税収が大きく減るよね。その一方で、医療・介護等に必要なお金は大きく増えていくことになる。そうなると、みんなの生活に必要な社会保障が維持できなくなるかもしれないよね。

なるほど・・・。村はこれから大丈夫なのかな・・・？

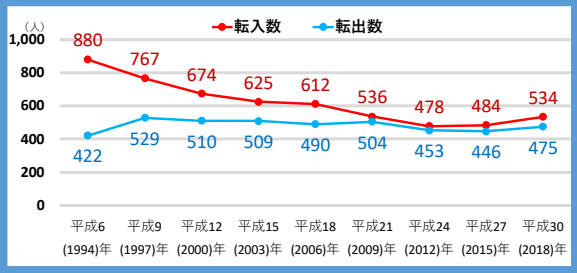
でも、どうしてそんなに人が減ってしまうんだろう？

出生・死亡数の推移



出典：住民基本台帳より

転入・転出数の推移



出典：住民基本台帳より

要因（よういん）は大きく分けて二つあるよ。一つは、亡くなる方の数が増えていて、産まれる子どもの数が少なくなっているんだ。

よくニュースでも言われているよね～。確かに、子どもを見かける回数が減った気がする・・・。

もう一つ、ずっと前は引っ越してくる人の数（転入数）の方が村から引っ越していく人の数（転出数）よりも多かったのだけれど、近年ではほぼ同じ数になっているんだ。今後は転出数の方が多くなるかもしれないね。

なるほどね。これからは、安心して子どもを産み育てられる、住み続けたくなるような村にしていかないといけないってことなのかな。

そのために長生村が目指すべき将来の方向と基本目標は以下のとおりとします。

目指すべき将来の方向

- **子どもの数の確保**
- **村の良さを活かした帰ってきたいまちづくり**

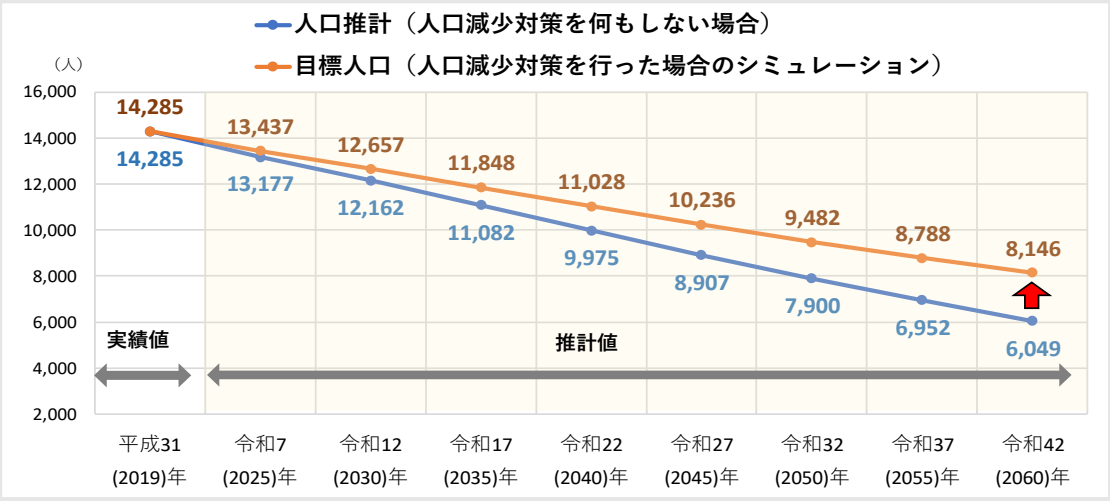
＋

基本目標

- **基本目標Ⅰ「働く：雇用」**
- **基本目標Ⅱ「人々が集う：コミュニティ」**
- **基本目標Ⅲ「結婚・出産・子育て」**
- **基本目標Ⅳ「住む魅力のあるまちづくり」**

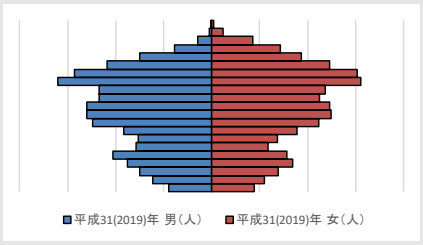
子どもを産む人が増えて、Uターンなどで引っ越してくる人が増えると、人口減少は緩(ゆる)やかになります。

シミュレーション結果：人口ピラミッドの推移



※下段から順に 0～4 歳、5～9 歳、…と 5 歳階級ごとの人口を表しています。最上段は 100 歳以上の人口です。

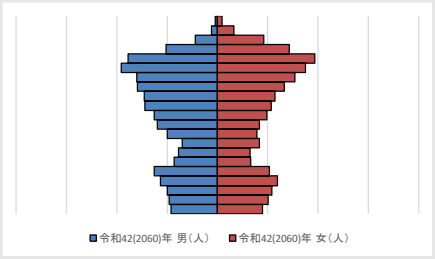
2019 年

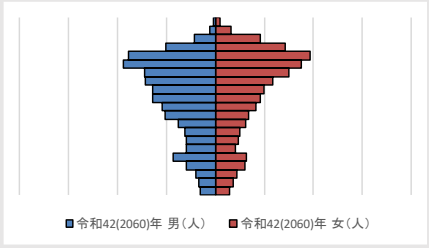


人口減少対策をした場合

約４０年後

何もしない場合





将来目標人口は、総人口だけでなく年齢バランスも考慮(こうりょ)する

ものとし、2060 年に人口約８千人を維持(いじ)する。

これが実現すれば、子どもや若い人が増えて、村は将来もしっかりやっていけそうだね。でも、どうやってそれを実現するのだろう？？

それを実現するための計画が「総合戦略」です！

長生村総合戦略（概要版）

目指すべき将来の姿、そして将来の方向を達成するための総合戦略の基本目標と各種施策の位置づけを、以下のように整理しています。

目指すべき将来の方向

- 子どもの数の確保
  - 出生率の向上
  - 若者の増加
- 村の良さを活かした、帰ってきたいまちづくり
  - 転入の促進
  - 転出の抑制

- 子育て環境の充実・子育てしやすいまち
- 教育環境の充実
- 結婚の支援
- 長く健康に住み続けられるまち
- 帰ってきたいと思えるまち
- 基幹産業である農業による雇用
- 雇用の確保・収入の安定化
- それぞれの人にあった多様な働き方づくり
- 観光により、訪れる人が多く、人が集うまち
- 自然が共生する心地よく安らぎのあるまち
- 生活環境として便利で活力のあるまち

基本目標 ⇒ 各種施策や事業の基本的方向性

基本目標	各種施策や事業の基本的方向性
基本目標Ⅰ「働く：雇用」	基幹産業である農業による雇用 雇用の確保・収入の安定化 それぞれの人にあった多様な働き方づくり
基本目標Ⅱ「人々が集う：コミュニティ」	長く健康に住み続けられるまち 帰ってきたいと思えるまち 訪れる人が多く、人が集うまち
基本目標Ⅲ「結婚・出産・子育て」	結婚の支援 子育て環境の充実・子育てしやすいまち 教育環境の充実
基本目標Ⅳ「住む魅力のあるまちづくり」	観光により、人が訪れるまち 村の魅力の効果的な発信 生活環境として便利で活力のあるまち

うわ～、いろんなことをしていかないといけないんだね。

『子どもの数の確保』と『村の良さを活かした、帰ってきたいまちづくり』の実現のためにいろいろな施策があるけれど、それらを「働く：雇用」「人々が集う：コミュニティ」「結婚・出産・子育て」「住む魅力のあるまちづくり」の４つの基本目標にまとめているんだよ。

長生村が抱える課題や強みなどの特徴をもとに、４つの基本目標ごとに力をいれて取り組んでいくプロジェクトを設定しているよ。

なるほど。どんなことに力を入れていくかがわかるね。

基本目標Ⅰ「働く:雇用」

- 基幹産業である農業による雇用
- 雇用の確保・収入の安定化
- それぞれの人にあった多様な働き方づくり

→

- ①長生の良さを創る農業振興プロジェクト
- ②働きたいという要望に応える商工業支援プロジェクト

基本目標Ⅱ「人々が集う:コミュニティ」

- 長く健康に住み続けられるまち
- 帰ってきたいと思えるまち
- 訪れる人が多く、人が集うまち

→

- ①長生（ながいき）定住促進プロジェクト
- ②縁を活かしたＵＩＪターン促進プロジェクト

基本目標Ⅲ「結婚・出産・子育て」

- 結婚の支援
- 子育て環境の充実・子育てしやすいまち
- 教育環境の充実

→

- ①ＭＵＲＡ来ん（村婚）プロジェクト
- ②長生スタイルの出産・子育てプロジェクト

基本目標Ⅳ「住む魅力のあるまちづくり」

- 観光により、人が訪れるまち
- 村の魅力の効果的な発信
- 生活環境として便利で活力のあるまち

→

- ①長生の魅力を発信する観光振興プロジェクト
- ②八積駅を中心とした持続可能なまちづくりプロジェクト

次のページからは、それぞれの基本目標ごとに取り組むプロジェクトの内容を紹介していくよ。

基本目標Ⅰ

「働く：雇用」

数値目標

村内事業所従業者	4,351人（H28）	▶	4,600人（R7）

※経済センサス活動調査のデータに基づく指標

長生村は好きだけれど…仕事が無ければ、いくら好きでも住めないよ。

そうだよね…。そのために、特に基幹産業である農業を中心に、雇用の確保、収入の安定化、多様な働き方づくりの支援などを行っていくよ。

どんなことをするの？

① 長生の良さを創る農業振興プロジェクト

数値目標

	基準値		目標値（R7）
水稲作付面積の維持 ※1	708ha（H30）	➡	708ha
遊休農地面積の減少 ※2	38ha（H30）	➡	32ha
認定農業者数	60人（H30）	➡	60人
農産物総出荷額	158千万円（H29）	➡	160千万円

※1：千葉農林水産統計年報より　※2：農林水産省荒廃農地調査より

（1）本村の特性を活かした持続可能な農業振興

「ながいき」ブランド食品づくりなど、本村の特性を活かした農業を推進します。新規就農者の支援や大規模集約化により安定した農業基盤を構築します。

（2）遊休農地の有効活用

農地の利用集積や農地情報の提供を図るとともに、観光向けの体験型農地として活用するなど、遊休農地の有効活用を進め、荒廃農地化を防止します。

② 働きたいという要望に応える商工業支援プロジェクト

数値目標

	基準値		目標値（R7）
「雇用促進」分野における住民の満足度の向上 ※1	13.8%（R1）	➡	20%
村内事業所数の増加 ※2	434事業所（H28）	➡	450事業所

※1：総合計画における住民アンケート調査より　※2：経済センサス活動調査より

（1）商工業の振興

既存産業の振興と新たな企業誘致の両面において支援を実施し、住民の働く場所を確保します。

（2）多様な働き手に活躍の場を創る次世代型雇用創出事業

子育てをしながら働く女性や、定年を超えて働き続ける方など、多様な働き手に活躍の場を創る次世代型の雇用創出事業に取り組みます。

基本目標Ⅱ

「人々が集う：コミュニティ」

数値目標

人口の社会増減数
（転入数－転出数）
※住民基本台帳のデータに基づく指標

＋59人（H30） ▶ ＋30人（R7）

これは何を目標にしているの？

仕事をつくることも大事だけれど、同時に村の住みやすさも大事だよね。住みやすさって、便利さだけじゃないと思うんだ。「よこながの原風景」の残る住み心地の良さ、開かれたコミュニティ、こういった長生村の魅力も含めて、さらに強化して内外に情報発信していくよ。これがのちのち、転入の増加や若者のUターンの増加などにつながるんだ。

どんなことをするの？

① 長生（ながいき）定住促進プロジェクト

数値目標

	基準値		目標値（R7）
65歳の平均自立期間 ※	19.0年（H27）	➡	21.0年
75歳以上人口に占める要介護認定者の割合	3.64%（H30）	➡	3.60%
特定健診受診率	45.6%（H29）	➡	60%

※平均自立期間とは、日常生活動作が自立しており、介護を必要としない期間
（千葉県HP健康情報ナビ最新データより）

（1）「長生（ながいき）生活」プロジェクト

長生村の特長であるスローライフ、地場産の長生（ながいき）野菜、開かれたコミュニティ、健康づくり施策のある環境に加え、高齢になっても元気で安心して暮らせるよう、各種施策を実施します。

② 縁を活かしたＵＩＪターン促進プロジェクト

数値目標

	基準値		目標値（R7）
Ｕターン転入者数の増加 ※1	123人（H30）	➡	増加させる
若者世代の本村へのＵターン希望率の向上 ※2	21.7%（R1）	➡	50.0%
自治会加入率	48%（H29）	➡	50%

※1　転入に関するアンケート調査において「Ｕターンである」と回答した割合を年間総転入者数に掛けて推計した。
※2　若者世代アンケート調査より

（1）若者のＵＩＪターン促進

住民は長生村のことを好意的に捉え、進学・卒業後に再び住みたいと考えている方が多いため、これらの思いを大切に継承し、長生村で生まれ育ったという「縁」を活かした定住者を増やすための取組を行います。

基本目標Ⅲ

「結婚・出産・子育て」

数値目標

合計特殊出生率の向上

※人口動態統計のデータに基づく指標

1.10（H29） ▶ 1.38（R7）

結婚の平均年齢があがったり、子どもの数が減って、日本の人口が減ってきていることが問題になっているよね。

そうだね。村としては、「結婚したいのにできない」「子どもを産みたいけれど育てられるか不安」という人をできるだけ減らすために、若い人たちが希望通りに結婚、出産、子育てができる環境をつくりたいと考えているよ。
よく街コンなんてあるけれど、長生村ではこれから農業と街コンを組み合わせた、「MURA来ん」（村婚）を開催していくよ。

どんなことをするの？

① MURA来ん（村婚）プロジェクト

数値目標

	基準値		目標値（R7）
婚活・交流イベントへの参加者数	24人（H30）	➡	40人
村内における婚姻数 ※1	52件（H30）	➡	55件
結婚希望者の割合 ※2	71%（R1）	➡	90%
長生De愛ネットへの会員登録者数	19人（H30）	➡	30人

※1　千葉県衛生統計年報（人口動態調査）より　　※2　結婚・子育てアンケート調査より

（1）若者の出会いのきっかけづくり

社会福祉協議会で実施している結婚支援事業をさらに強化し、長生村の特色を活かした交流の場づくり等の取組を進めます。

② 長生スタイルの出産･子育てプロジェクト

数値目標

	基準値		目標値（R7）
30～34歳における出生率の向上 ※1	0.314（H29）	➡	0.360
子育て相談窓口への相談件数	6件（H30）	➡	15件
なかよし広場利用者数	149人（H30）	➡	180人
学校給食での村内農産物利用率	10.60%（H30）	➡	11%

※1　住民基本台帳、人口動態統計より算出

（1）安心して出産できる体制づくり

これまでも取り組んできた各種相談事業や、妊娠期から子育て期までの切れ目のない総合的支援の実施などに取り組むほか、長生郡市において課題となっている産科・小児医療などの広域医療体制の検討を行います。

（2）子どもを育てたくなる長生教育プロジェクト

幼児教育の充実へのニーズに対応して、豊かな自然環境や地域資源を活かしながら、保育所・小学校・中学校の「縦の連携」と家庭・保育所・学校・地域の「横の連携」により、自立できる子どもを育成できる環境づくりを目指します。

基本目標Ⅳ

「住む魅力のあるまちづくり」

数値目標

「これからも長生村に住み続けたい」と思う人の割合

79.7%（R1） ▶ 90.0%（R7）

※総合計画におけるアンケート調査のデータに基づく指標

仕事や住みやすさ、結婚・出産・子育て支援などを整えるのと同時に、村で育った人が「帰って来たい」と思えるように、八積駅を中心として村の魅力をつくるための基盤を整えていくよ。

友達を連れてきて、いろいろ案内もできるね。とっても楽しみ！

どんなことをするの？

① 長生の魅力を発信する観光振興プロジェクト

数値目標

	基準値		目標値（R7）
観光入込客数（延べ人数）※1	202,458人（H29）	➡	230,000人
ＳＮＳフォロワー数	921人（H29）	➡	1,600人

※1　千葉県観光入込調査報告書を基にした村独自集計値

（1）「長生（ながいき）体験」のできる観光創造事業

ＩＣＴを活用した情報発信やながいきフェスタなどのイベントの充実、官学民連携による地域ブランド商品の開発などの広報活動を実施するとともに、空き家等を活用したシェアハウス等整備と農業体験、収穫した野菜をその場で調理して食べる地産地消事業や砂浜さんぽなど、長生（ながいき）生活の体験を行うことのできる短期滞在型観光事業を実施します。

② 八積駅を中心とした持続可能なまちづくりプロジェクト

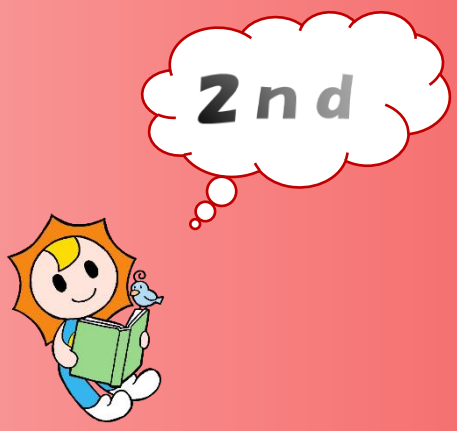
数値目標

	基準値		目標値（R7）
八積駅乗客数 ※1	737人（H30）	➡	900人
駅周辺の生活利便施設立地数	5件（H30）	➡	20件

※1　ＪＲ東日本の発表による１日あたりの乗客数

（1）八積駅を中心とした賑わいのあるまちづくりの推進

八積駅周辺の再開発による駅前空間の整備や公共施設の集約化、駅の利便性向上を進め、駅周辺のにぎわい創出と魅力発信、住民全体の交流促進を図ります。あわせて駅を起点とした村内周遊型の観光ネットワークを整備し、歩いて行ける距離で生活できるコンパクトなまちづくりを推進します。



長生村イメージキャラクター
太陽くん

発行日　令和２年３月
発　行　長生村
〒299-4394　千葉県長生郡長生村本郷 1-77
TEL：0475-32-4743
編　集　長生村役場企画財政課